

国際大会参加選手団並びに保護者及び応援者に関する内規

(内規の目的)

1. 一般社団法人日本知的障がい者卓球連盟（以下連盟とする）の選手団並びに保護者及び応援者が、国際大会に出場並びに応援参加をする際、安全かつマナー良く有意義な大会遠征となるために以下の内規を設ける。

(国際大会派遣選手団の活動方針)

2. 連盟が派遣する選手団は、日本代表としての自覚を持ち、選手団としての団結を図りつつ個々の競技力を発揮し、選手自らが自立して成長が出来るチャンスとする。

(国際大会選手団)

3. 選手団は、連盟コーチ・母体コーチ・選手で構成する。

選手団は、大会開催期間中は、健康及び安全な生活に配慮する。

連盟コーチは、理事会で任命したコーチとする。

母体コーチは、連盟に登録したコーチで選手1名に1名認められる。

選手は、理事会で選考されたメンバーとする。

選手は、連盟コーチの計画や指導に沿って活動する。

※コーチに関しては別途『コーチ規程』で、選手は『選手心得』で定める。

(保護者及び応援者)

4. 保護者及び応援者は、大会期間中は、選手を連盟コーチと母体コーチに任せる。

保護者及び応援者は、渡航券・ホテル等は個人で確保する。

保護者及び応援者は、選手団に対し健康管理上、飲食物等の提供はしない。

保護者及び応援者は、エントリー費やホスピタリティ未納者ゆえ、選手やコーチが利用するバスに乗車できない。開催国が開くパーティに参加できない。

また、競技フロアには降りる事ができない。

(通路としてフロアを通る場合は止むを得ない)

保護者及び応援者は、応援は必ず観客席からする。フロアに降りてコートに近づいたりしてはいけない。

保護者及び応援者は、大会役員や競技役員に質問や意見をすることはできない。

保護者及び応援者は、個人的な飲食やパーティにコーチや選手を誘わない。

令和3年 5月 17日 制定

令和3年 5月 18日 施行

令和4年 10月 26日 改訂